（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　メリーフィールド鶴ヶ峰			
○保護者評価実施期間	2025年12月15日	～	2026年3月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○従業者評価実施期間	2025年12月15日	～	2026年2月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の「できる」を増やし、自律に繋がるようにする 遊びを通して、コミュニケーションスキル向上を目指す	・お子様が自主的に行動出来るように取り組む課題の提供　・苦手意識が強い活動も取り組めるように支援する	・おもちゃは期間を決めて提供をする ・お子様にあった課題を提供する
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置 本部が基本配置以外の配置を認めていない	・子供の特性に合わない職員を研修に送り出せない。 ・本部管轄の職員の理解研修が足らない。	働き方改革を推進し、働きやすい環境職場を整える
2			
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	メリーフィールド鶴ヶ峰

公表日　2026年　3月　16日

利用児童数 6人　　回収数４人

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	2026/3/16	3	1			去年よりも室内が広くなった。	ご意見ありがとうございます。 少しでも教室内を広くできるよう努力してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	2		1	目視で毎回チェックできないので正直分からないが、適切だと思いたい。	ご指摘ありがとうございます。 最低基準は今後も厳守していきます。 配置数は増加出来るよう努力します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1			去年より配置が良くなった。	構造上肢体不自由児は難しいですが、普段から危険にならないように配慮に心がけます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	1			去年より配置が良くなった。	特に清潔面は常に清掃を心掛け、環境に配慮を心掛けています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				アドバイスがためになる事が多い。	引き続きお子様にあった支援を心掛けてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	3			1	大きな目標は設定していないですが、小さな成長は共感出来ている。	基本プログラムはございますが、お子様の特性が日々変化しますので、合ったニーズで支援しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				大きな目標は設定していないですが、小さな成長は共感出来ている。	お子様にって大きな目標より、小さな課題を組み立てて作成するように心掛けております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1		1	一緒に考えているのでできています。	ご指摘ありがとうございます。ガイドラインにそって、まだまだ本人支援の割合が大きく、家族支援に関しましてはレスパイトケアを中心に行っております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				出来る範囲でやってくれている。	提供できる素材が少ない中、高評価をありがとうございます。引き続き職員一同頑張ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1		1	室内、制作、外遊び、自由時間と自分の子には工夫が良い具合。	児発のお子様は特に固定化しないように遊びの中も工夫するように頑張ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			2	週1の利用なのでわからない。	コロナ禍の影響を受けてから交流は難しくなっていますが、公園活動で交流出来るように活動は勧めています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				書類をもらっている。	契約時には説明をしておりますが、分からない時はどうぞご連絡ください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				面談時に確認している。	最低年2回のルールの他にその都度変更出来るように努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1		3	週1の利用なのでわからない。	ご指摘ありがとうございます。 正直外部の方が良い研修会があり、引き続き情報提供はお知らせで行います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4				送迎時、顔を合わせれば話せているので出来ている。	高評価ありがとうございます。目の行き届かない箇所も多々あると思いますが保護者様と共有できるよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				話しやすい先生方なので、小さな事も毎週でも共有できている。	高評価ありがとうございます。目の行き届かない箇所も多々あると思いますが保護者様と共有できるよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				在籍する先生方なので、細かい所も覚えて下さり色々と話せて支援してくれてる。	高評価ありがとうございます。目の行き届かない箇所も多々あると思いますが保護者様と共有できるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2		2	週1の利用なのであっても参加できていない。	ご指摘ありがとうございます。コロナ禍の影響で開催できなくなっていますが年1回のいもほりイベントで共有できる時間を作ってはおります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1	相談等はすぐに対応してくれる	ご指摘ありがとうございます。目の行き届かない箇所がまだまだあると思っております。迅速に対応できるよう引き続き努めます。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	1		1	上手く話せている。レスポンスも速い	難しい課題ですが、不安を与えないように配慮が出来るように心がけています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	1		1		艇的なお知らせは紙ベースでお知らせをし、活動に関しては写メを送信させて頂いております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1	分からないが十分に注意してくだされればよいと思う	個人情報の取り扱いは以前から課題としておりますが、まだまだ不十分さもあり留意に努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1		1	2	直接、目視で確認できてないので面接時に見れたら良いなと思いました。	以前は目視出来るように置いていましたが事情があり、見えないようにしています。訓練は2か月ごとに行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			3	直接、目視で確認できてないので面接時に見れたら良いなと思いました。	ご指摘ありがとうございます。必要な訓練は必ず行っております。面談はお子様の不在時に行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	1			3	直接、目視で確認できてないので面接時に見れたら良いなと思いました。	十分な安全と言う言葉には当てはまらないと思っておりますが、十分支援が出来るよう日々努力しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	2		1	脱走について気をつけてくれればと思う。	ご指摘ありがとうございます。常に施錠をしておりますが、カギ穴が破損しかけているので、思案中です。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	4				親子共に満足している。去年よりも良い支援になったと実感している。	高評価ありがとうございます。目の行き届かない箇所も多々あると思いますが保護者様と共有できるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4				親子共に満足している。去年よりも良い支援になったと実感している。	高評価ありがとうございます。目の行き届かない箇所も多々あると思いますが保護者様と共有できるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				親子共に満足している。去年よりも良い支援になったと実感している。	高評価ありがとうございます。目の行き届かない箇所も多々あると思いますが保護者様と共有できるよう努めます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	メリーフィールド鶴ヶ峰

公表日　2026年　3月　16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	おもちゃの散らかりがないよう、スペースの確保に努める。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4		基本配置だけで、改善を求めている。
	3	2026/3/16	8		利用者に併せて、空間を整えるように努力している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		空間は職員全員で気を付けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。		8	子供用の別部屋の用意がなくテントなので、クールダウンの場所は確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	5		基本配置職員しかいなく毎回同じ職員
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		不定期だが、都度意向があった場合は改善し職員で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見は都度機会を設けており、業務改善を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		利用していない。提案研修にも行けない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8		法人内での研修は毎回参加できるが、外部研修は講習に行きたくても職員が足らずいけない。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	8		保護者からのアセスメントに基づき、職員間でも共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		保護者からのアセスメントに基づき、職員間でも共有している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		毎回ではないが、定期的に期間を設けて少ない職員でも行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	大まかなな支援を決め職員間で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5	会社全体として、共有すべきものもない。職員同士で保護者とのやりとりで確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8		本人支援が中心になっていて、職員も足らないし、移行支援や地域支援まで手がまわらない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		児童指導員を中心に立案している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	5	プログラム自体は固定化しているのではないか。だけど、やっていることは工夫が出来ている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	6	集団に参加できない子が必ずいるが、パニックを起こさないように支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			連絡事項の伝達も含め必ず行っているが、チームで連携するほど職員がいない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		8	終了時間に全員揃っていないので、翌日のミーティングで行う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		8		記録はつけるように職員に徹底しているが、日報に記録する暇がない。支援の改善は日々、話をしながら検証している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		8		職員間では不定期に行っている。本来は定期的に行うべきと認識しているが、そこまで回らない。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		8		参画したいが、時間がない。合わない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		8		体制は整えているが、時間の調整が難しい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		情報共有はできている。しかし、学校自体がそこまで出来ていないように感じる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		小学校の一部はできているが。支援は学校に合わせる状況。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		8		療育センターとの連携は出来ているが、助言の機会はない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8		コロナ禍の影響でどこもしていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		利用日の状況は連絡帳だけでなく、支援の職員からも伝え共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	ペアレントトレーニングはしていない。外部の研修や情報は提供している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		管理者が必要に応じて行っている。また職員も分かる範囲で行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6	2		今はこども最善で優先にしている。時には保護者がすべき無理難題もある。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		基本同意を得てから支援を開始している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	3	まだ経験が浅い、職員は行っていないが経験のある職員は管理者に変わって行う時もある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		コロナ禍の影響でどこもしていない。但し、年2回のイベントには保護者参加もお願いしている。きょうだい同士の交流は喧嘩が多くしていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			職員全員に周知し、迅速に動いているが、保護者側の無理難題が増えている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			お便りは一方通行だが、LINEで必ず確認をしている。こどもを通して確認もするようにしているが、保護者側の放置が多い。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	5		十分に職員は注意しているが、子供からの情報発信も増え、違う意味での取り扱いに注意を検討している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		十分に職員は注意しているが、子供からの情報発信も増え、違う意味での取り扱いに注意を検討している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	開所前はやったこともあるようだが、コロナ禍の影響で招待はしていない。来所の際は案内している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルは周知しているが、参加できない職員もおり、訓練自体は行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	必要に応じて訓練は行い、地域の訓練も参加している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		最近増えてきたので、必ず半年に1回行うようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		今のところ、医師の指示書が必要なこどもはいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			支援は行われているが、時間が足らず外部研修は正直難しい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8		特にLINEで情報提供が全員出来るように周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			口頭での情報交換は常に行っているが、職員も記録する時間がない。再発防止策は常に行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			内部研修は日々行っているが、外部研修は時間が合わず参加が難しく困っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			掲載はしている。保護者にも常に危険性を感じたら行う了解は得ている。